

家政学部 通信教育課程 食物学科
【中学校一種免許状(家庭) 高等学校一種免許状(家庭)】

①教員養成の目標

家庭科の食物分野は生きていくために必須の栄養素を食品あるいは調理品として摂取するために必要な知識や技術を教育する使命を担っている。成長期にある子どもの生きる力を養うためには、自立して食料を確保し摂取して健康を維持できること、食生活を通じてコミュニケーションを図り社会性を高められること、他社の使命を守るために必要な健康や保健について学ぶことの意義は大きい。このことは、個々の生の営みの保障のみならず、食を生活の視点で融合的に捉えて社会生活の機軸とし、豊かで安全な食生活を営む力を育むことにより、地域社会、国家、人類の平和を創世することにつながるものである。食物学科では、中一種免(家庭)・高一種免(家庭)取得者に対して、このような発展的視点で教育ができる人材養成を目指している。

②当該目標を達成するための計画

食物学科では、教職課程について入学時にガイダンスを行い、教職に関する心構え等について指導している。学科専門科目では、食品学、調理学、栄養学という、食に関する3分野を総合して取り扱える学習内容とし、さらにスクーリングによる実験、実習科目の充実に努めることで、家庭科教員に必須となる専門知識と技能を深化させている。